

## 山行報告書

山行報告者：深谷

山域・山名：岩櫃山 (802m) (群馬県東吾妻町)	
入山日又は期間： 令和2年11月15日(日) 日帰り	
プラン担当者 正：深谷 副：	
参加者	L：深谷 記：深谷 報：天野 叢島、小川ま、佐藤な、天野、深谷
	男2名、女3名、計5名
天候 快晴・無風・暖かい。最高の天気。	
11月15日(日) 集合時間： 午前6時 集合場所：大宮駅西口 大宮 6:00＝叢島邸＝6:45 川島町 JA 小川車合流＝7:02 東松山 IC＝ 8:05 渋川伊香保 IC＝8:55 古谷登山口 P9:30 ～ 9:37 密岩登山口～10:15 コル 10:40～11:25 山頂 11:45～12:00 北峰(昼食) 12:30 ～12:50 天狗の蹴り上げ(櫃の口)～13:25 岩櫃城趾 13:35～13:50 平沢登山口 13:55～ 真田道～14:45 古谷登山口 P15:05＝渋川伊香保 IC＝東松山 IC＝大宮 20:10	
装備と食糧	共同装備：ツエルト(2)、 車提供者：小川正、深谷
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、熊鈴、岩用手袋、セルフピレイ セット、非常食 個人食：昼食、
感想&注意事項	<p>★岩櫃山は10月の定例山行だったが台風のため中止。再度計画し、参加希望だった人に声をかけ、都合のつく人たちで実施した。</p> <p>★天気は最高！ 空気も澄み、360度のパノラマ。(アルバムをご覧ください)</p> <p>★稜線は岩稜帯。この山のハイライトの「天狗の架け橋」部分は崩落し、通行止めだ。そのほかにも通行止めがあり、やはり危険な山だ。ずいぶん登山者が落ちているらしい。持参したスワミベルトを使い、セルフピレイをとって登る。</p> <p>★山頂は10人も立てば危険な狭いところ。長居はできず北峰に移動。こちらは安全なコースから来た多くの人たちで賑やか。うまく座る場所が確保できてしばしご飯タイム。</p> <p>★山は紅葉時期を過ぎていたが残ってる紅葉もあり、美しい。</p> <p>★下りは岩櫃城趾を見るコース。岩櫃城は武田領内三名城の一つ。のちに真田家三代(幸村の祖父、父、兄)が城主を務めた。ここは領地である上田と沼田を結ぶ真田道の中間地点であり、領地守備の要だったという。現在は山城特有の狭い土地に樹木が茂り、だた碑があるだけで地味！当時は見晴らしがよく、鉄壁な防壁の城だったろう。</p> <p>★保存されている真田道は除草されているので歩けるが何と狭い！。ここを当時は武将が馬で駆けたとはいじられない。この古道を約2km歩いて登山口に戻った。</p> <p>★会の人たちと行く山行は5ヶ月ぶり。やはりリアルな会話は楽しいな・・・。</p>